

自己評価報告を受けて

今年度（2019年度）は、179名の新入生を迎えることが出来ました。入学生がぐっと増えた昨年度に比べると減少はしたもののこの10年間で2番目に多い入学生です。これも生徒達の活躍や、教職員一丸となって学校の魅力づくりに努力をした結果であることと受けとめております。

自己評価の中には、前年度に及ばない項目もあり、結果をしっかりと反省し、改善の努力をしなければならぬと受けとめます。いくつかの具体的な数値や達成目指しやすい項目を揚げ、改善に努めてまいります。

普通科については、新しく始まる大学入試に対応することが出来る学力を育成するために、今年度入学生より、普通科の中に特進コースを設けました。4名の入学生の進路希望にそって確かな力の構築をしていきたいと考えます。

教職員のスキル向上については、「授業力」を上げること、生徒たちの変化に敏感であること、様々な情報を吸収またはコントロールできるよう研鑽に努めてまいります。生徒の家庭との連携はもとより地域の方々とのコミュニケーションもさらによくなるよう働きかけるようにします。生徒たちを育てるための努力を惜しまない教職員集団をめざします。

今後ますます、充実した学校づくりのために、職員からの新しい提案を期待するとともに、働き方改革にも着目し、職場環境整備も図っていきたいと考えます。また、創立100周年に向けて、玉名女子高等学校はさらなる進化を続けたいと存じます。

令和元年6月30日
学校法人 玉名白梅学園
理事長 森塚 利徳